

伊予弁



「ALL宇和島」の実現に向けて

朝倉雪江 | 宇和島市・ウェブ開発者

本業の傍ら、立場や分野を超えた協働の体制づくりにまい進している。行政・民間・非営利団体・個人それぞれの立場で、今取り組んでいることやこれから始動する動きなど「どこで、誰が、どんな活動を行っている（行ってきた）」かを可視化。身を置く位置、できること、使える資源といった制約の下、互いに補いながら目標を達成できる仕組みを構築していく。

立場をまたぐ連携では、おのおのの適性や役割分担を意識する。たとえば、行政は活動を周知したり関係機関のネットワークを活用したりする点で秀でており、民間は小回りが利く分、素早い実行やトライ＆エラーをくり返しやすいなどの特性がある。「異なる立ち位置でも目指す方向は同じ」という取り組みは存外が多く、ゆるやかに連携できれば、双方とも一層効果的に活動を展開できるのでは、と想像を膨らませる。

私はIT分野に軸足を置くため、情報の整備や業務効率化に関与することが多い。仕事でもプライベートな付き合いでも、技術による課題解決の相談が絶えない。蔣淵という辺地に暮らしていても、できることは多分にある。

宇和島市が掲げる「ALL宇和島」には、地域に関わる人が一体となって地場の魅力を再発見・創造していくという思いが込められているらしい。まさに、同じ気持ちだ。

目下、立場を超えた連携に向けて動き出しており、これからも同スローガンを地で行きながら地域をもり立てていきたい。